

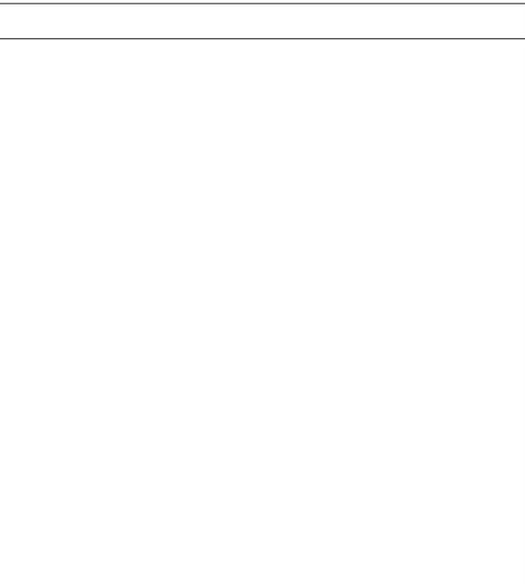
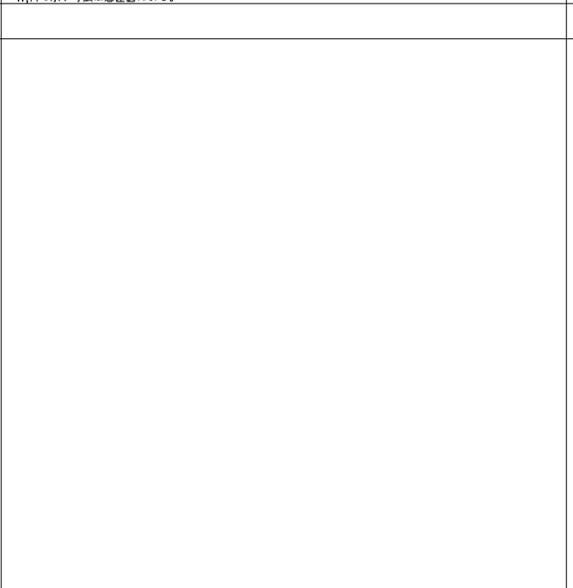
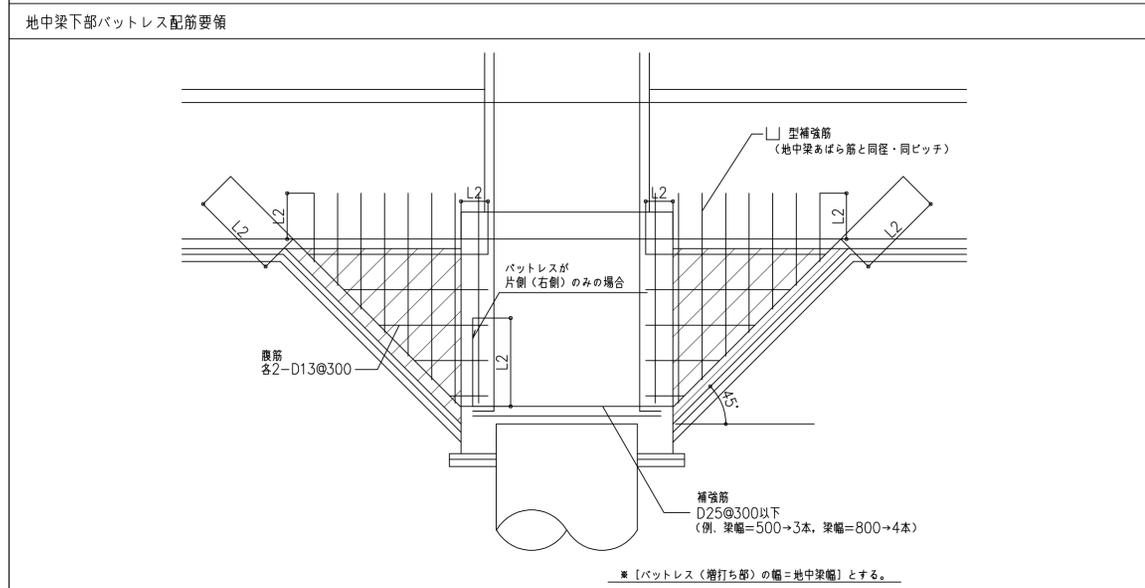
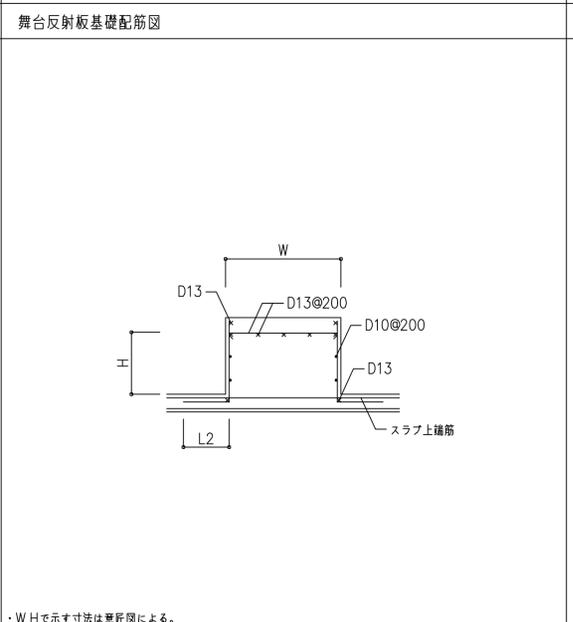
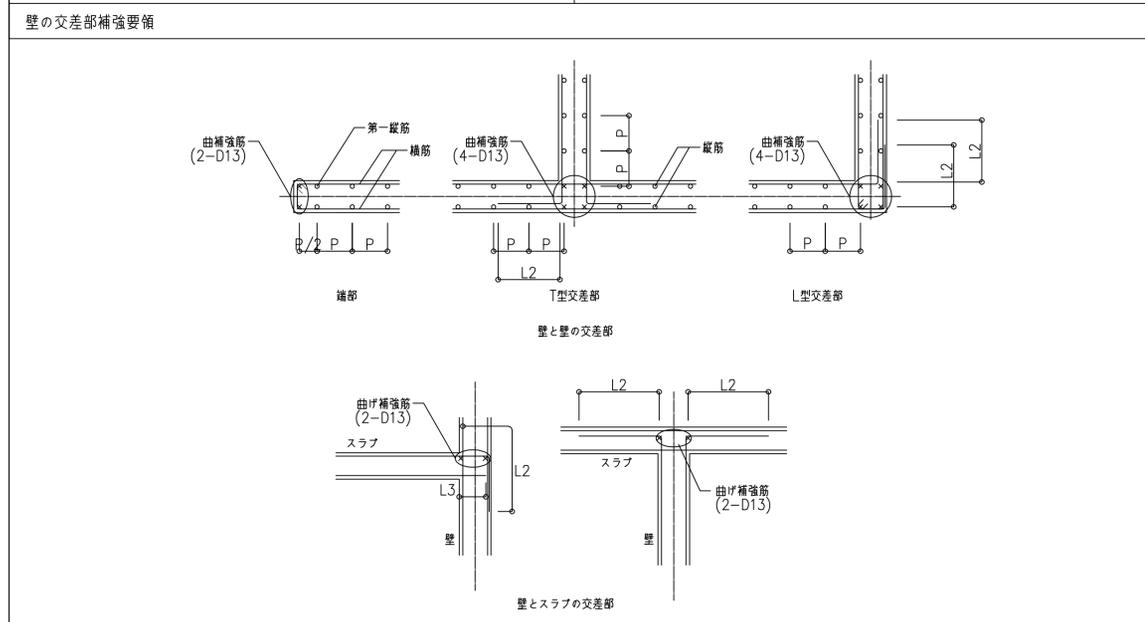
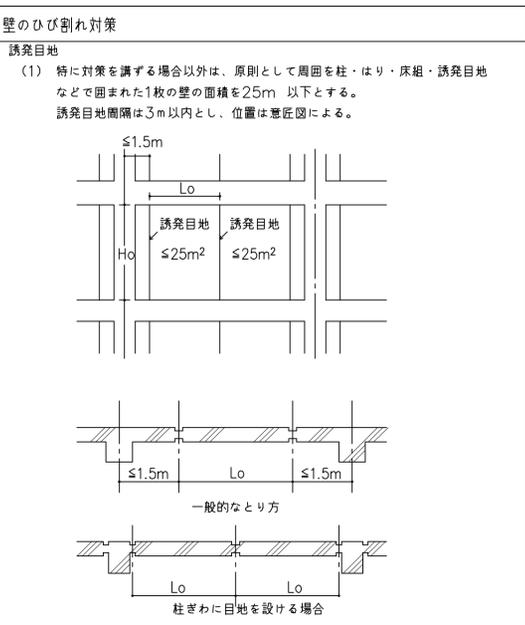
RC梁貫通孔補強リスト

配筋種別	斜め筋	H形配筋			配筋図
		縦筋	横筋	上下縦筋	
H8	4-3-D22	4-4-D16	2-2-D13	6-4-D16	
H9	4-3-D25				
H10	4-4-D29	6-4-D16	2-2-D13	6-4-D16	

(注) --- は、一般部分のあばら筋を示す。

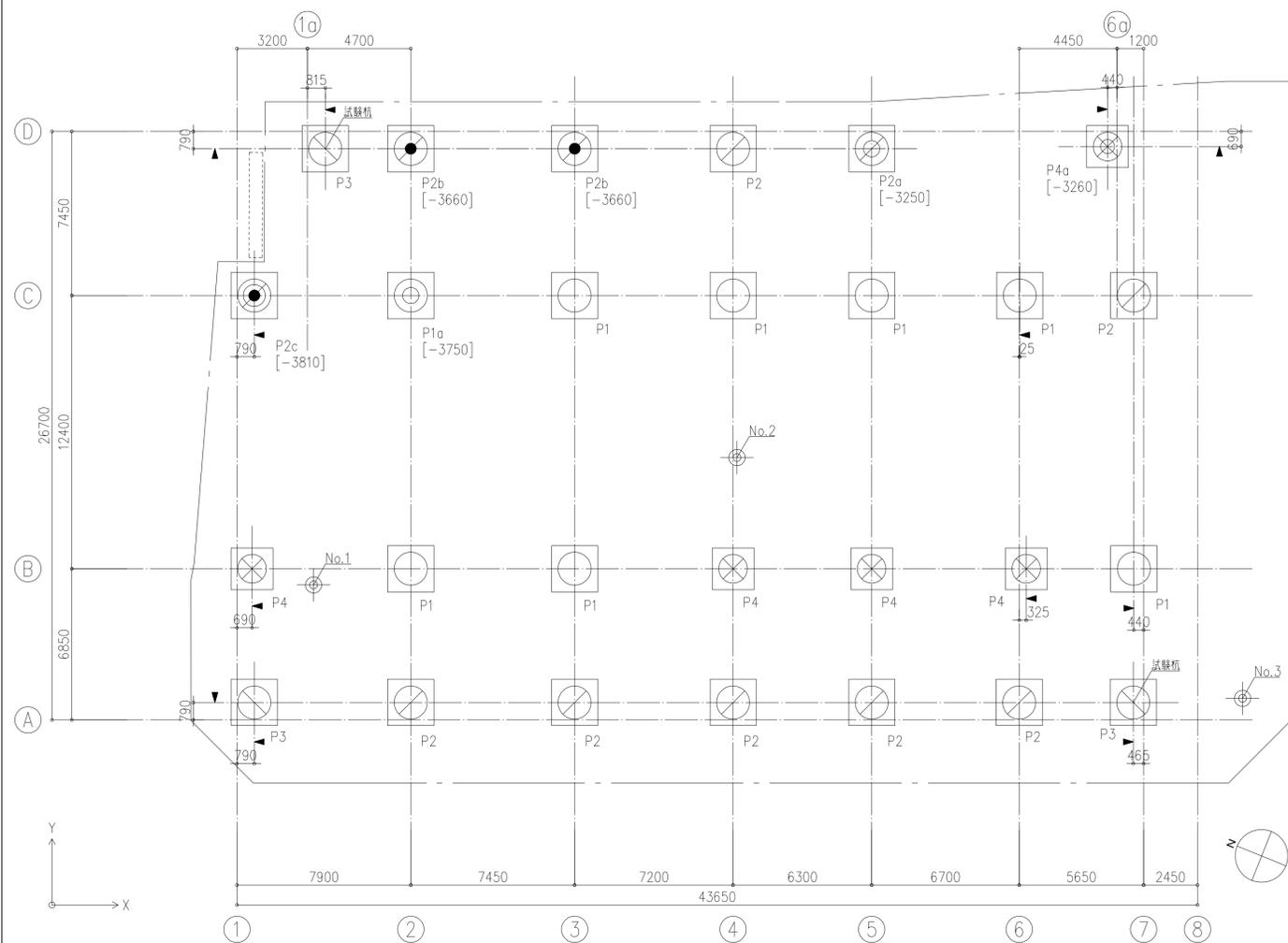
梁 符 号	貫通孔径に対する配筋種別				
	φ≦114	φ≦140	φ≦165	φ≦267	φ≦600
FGX1,FGY1,FGY1A,FGY2D	H2	H4	H6	H7	H9
FGX1A,FGX1B,FGX1C,FGX5,FGY2A,FGY3,FGY3A,FGY5	H5	H6	H7	H8	H10
FGX2,FGX3A,FGX6,FGY2,FGY2C,FGY4,FGY4A	H6	→	H7	H8	H10
FGX4,FGY2B	→	H7	H8	H9	H10
FGX3,FGX3B	H7	→	H8	H9	貫通不可
下記以外の基礎小梁・小梁・片持ち梁	H1	H2	H3	H4	H5
B1A,FB1A,FB4A,FB7	→	H2	H3	H5	H7
FB4B,FCG1	H4	→	H5	H7	H9

・必要梁せい、孔の中心位置、間隔等その他の規定は標準配筋要領図(7)に倣う。

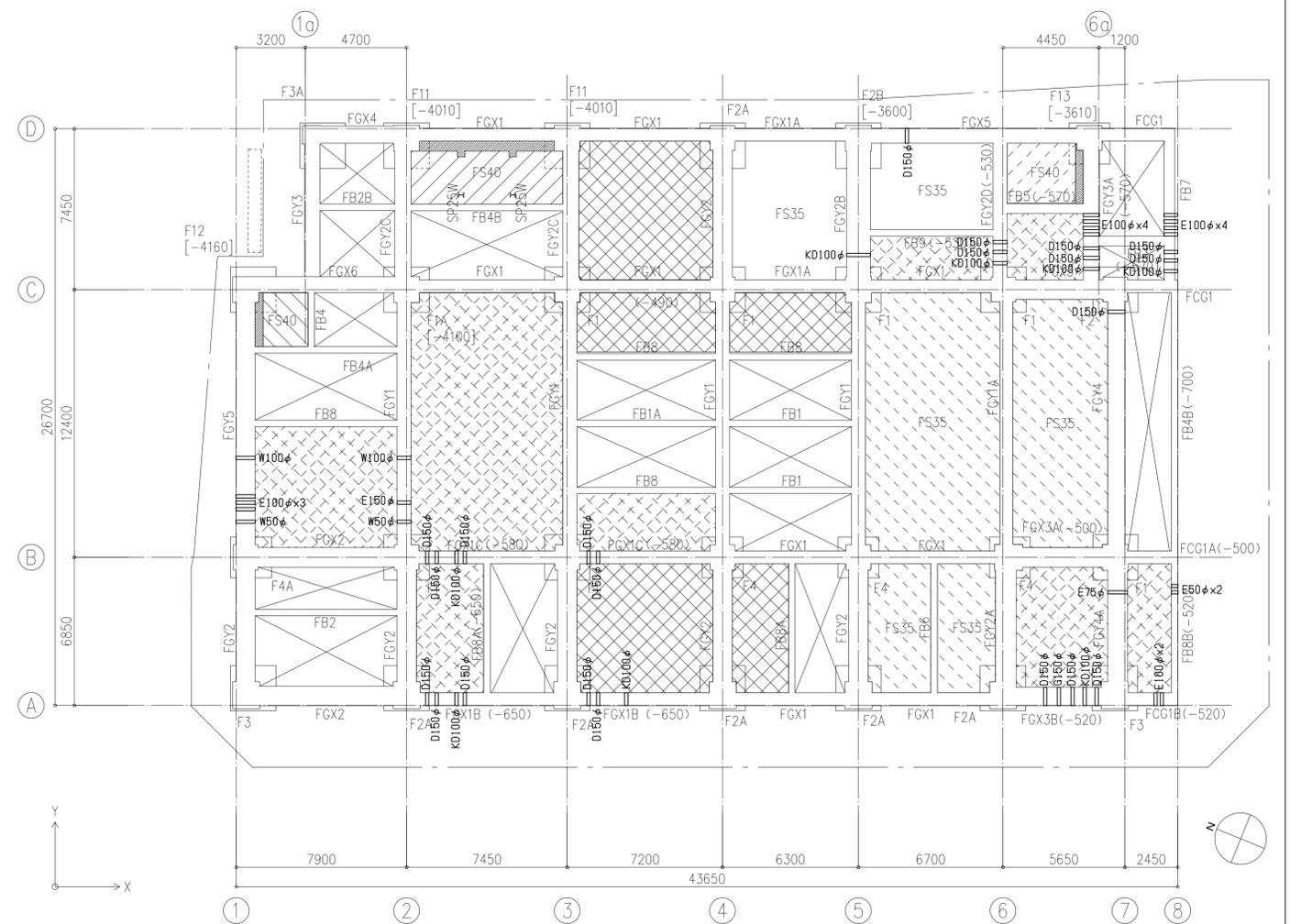


工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事			縮尺	-
図面名称	RC補配筋図(2)	通し番号	223	図面番号	561
大阪都市整備局 企画部	株式会社	大建設	223	229	
公共建築課(企画設計グループ)					

杭仕様						
工法	場所打ち鋼管コンクリート掘削杭工法		アースドリル工法 KCTB場所打ち鋼管コンクリート杭			
杭長	符号	記号	杭径	掘削径 (設計径)	長期支持力 (kN/本)	本数
50.9m	P1	○	φ1500	φ2400	11300	7
	P2	◐	φ1500	φ2100	8600	7
	P3	◑	φ1500	φ1700	5600	3
	P4	⊗	φ1300	φ2100	8600	4
50.6m	P2a	◐	φ1500	φ2100	8600	1
	P2b	●	φ1500	φ2100	8600	2
50.1m	P1a	○	φ1500	φ2400	11300	1
	P2c	◑	φ1500	φ2100	8600	1
49.9m	P4a	⊗	φ1300	φ2100	8600	1



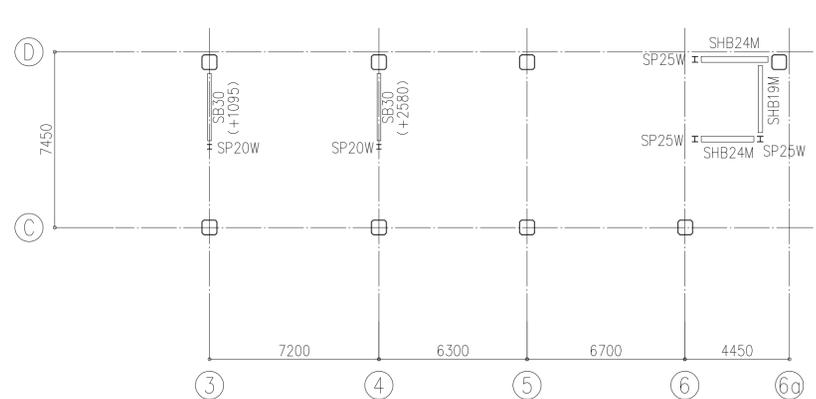
特記なき限り 下記による
 ・設計GL=0.P.+1.99とする。
 ・印は、ボーリング調査位置を示す。
 ・印は、杭位置を示す。
 ・杭天端レベルは、GL-2950とする。
 ・[]内は、GLからの杭天端レベルを示す。



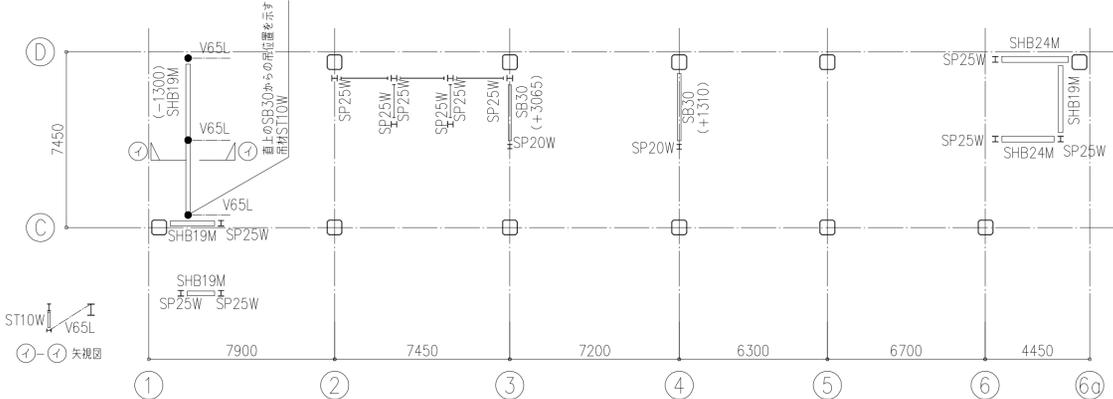
特記なき限り 下記による
 ・梁天端レベルは、1FL-400とする。
 ・()内は、1FLからの梁天端レベルを示す。
 ・基礎下層レベルは、GL-3300とする。
 ・[]内は、GLからの基礎下層レベルを示す。
 ・スラブ天端レベル1FL-1260
 ・スラブ天端レベル1FL-1410
 ・スラブ天端レベル1FL-1560
 ・スラブ天端レベル1FL-1640
 ・スラブ天端レベル1FL-2550
 ・土間コンとし、土間コン天端レベル1FL-2100
 ・土間コンとし、土間コン天端レベル1FL-2200

・印は、埋め戻しとする。
 ・印は、増し打ちを示す。
 ・印は、スラブの主筋方向を示す。
 ・印は、礎柱位置を示す。
 ・全場位置および入開口位置は、巻図による。

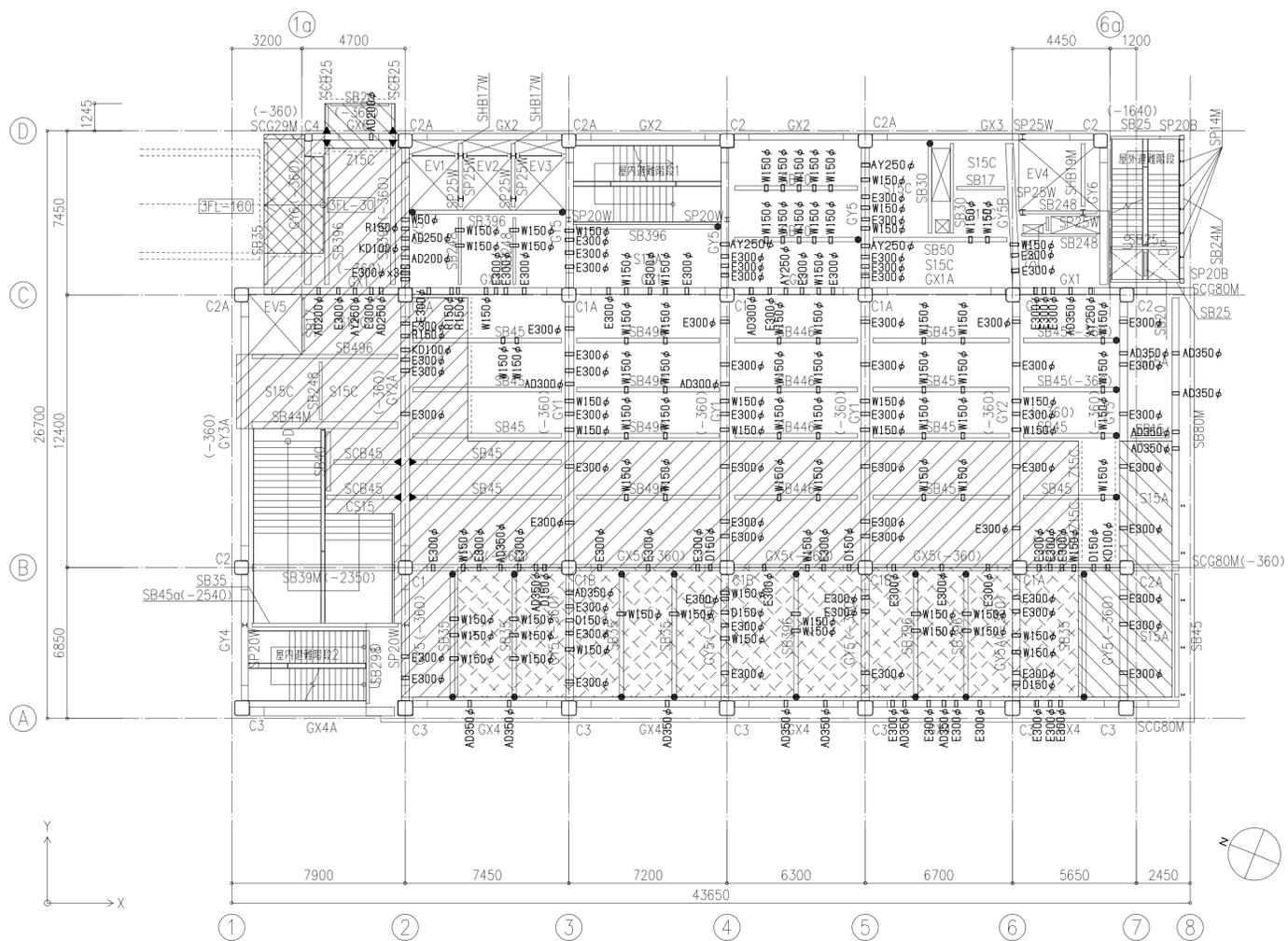
令和元年度	令和元年度	令和元年度	令和元年度
工事名称 (仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事	図面名称 梁貫通伏図 (1)	通し番号 224	図面番号 562
大阪府都市整備局 企画部	株式会社 大建設	224	229
公共建築課(企画設計グループ)			



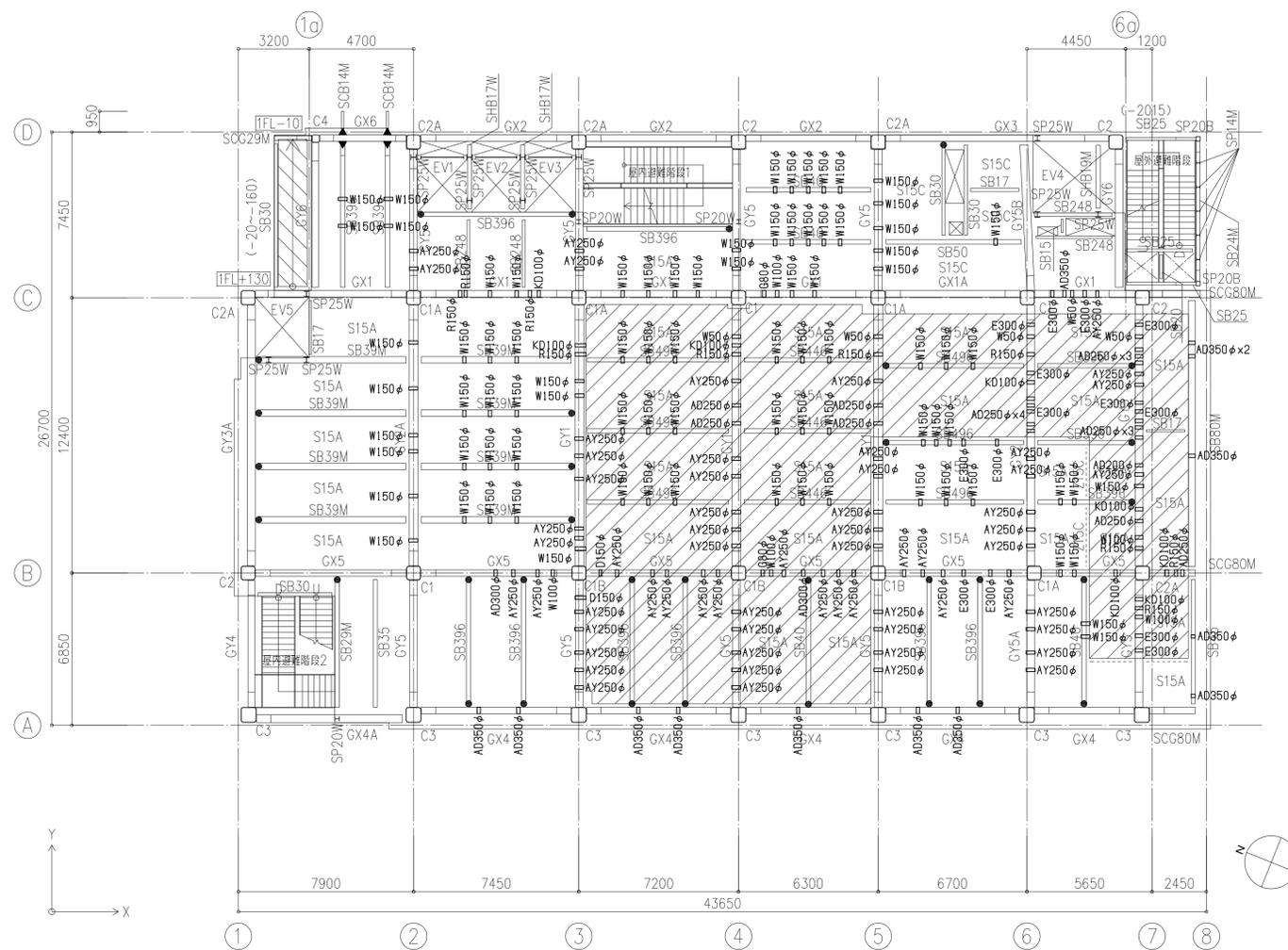
3FL+3000 1:150



4FL+3000 1:150



3階伏図 1:150

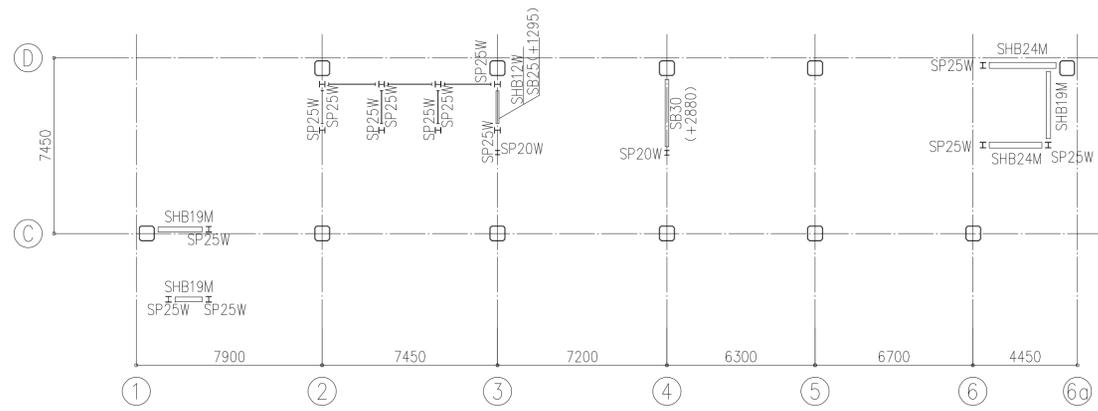


4階伏図 1:150

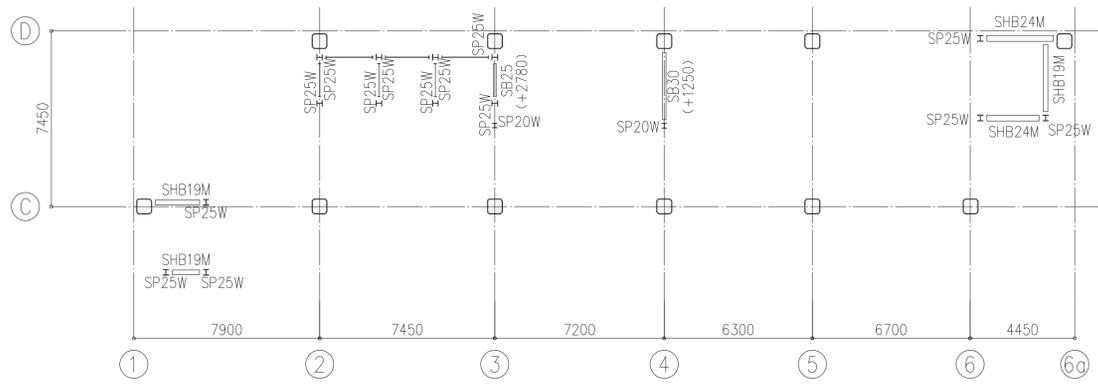
- 特記なき限り 下記による
- スラブ符号は、S15とする。
 - 出幅1000以下の片持ちスラブ符号は、CS15とする。
 - 梁天端レベルは、3FL-160とする。
 - ()内は、3FLからの梁天端レベルを示す。
 - スラブ天端レベル3FL-10 小梁天端レベル3FL-160
 - スラブ天端レベル3FL-30 小梁天端レベル3FL-180
 - スラブ天端レベル3FL-100 小梁天端レベル3FL-250
 - スラブ天端レベル3FL-300 小梁天端レベル3FL-310
 - スラブ天端レベル3FL-200 小梁天端レベル3FL-350
 - 複数のハッチングに渡る小梁の天端レベルは、レベルの低い値とする。
 - は、小梁剛接合箇所を示す。
 - は、SHB12Wを示す。
 - は、水平プレーストHV75Lを示す。
 - は、Z12Cを示す。
 - 印は、構補剛性接合部を示す。

- 特記なき限り 下記による
- スラブ符号は、S15とする。
 - 出幅1000以下の片持ちスラブ符号は、CS15とする。
 - 梁天端レベルは、4FL-250とする。
 - ()内は、4FLからの梁天端レベルを示す。
 - スラブ天端レベル4FL+130-10
 - スラブ天端レベル4FL-10 小梁天端レベル4FL-160
 - スラブ天端レベル4FL-100 小梁天端レベル4FL-250
 - 複数のハッチングに渡る小梁の天端レベルは、レベルの低い値とする。
 - は、SHB12Wを示す。
 - は、水平プレーストHV75Lを示す。
 - は、Z12Cを示す。
 - 印は、構補剛性接合部を示す。

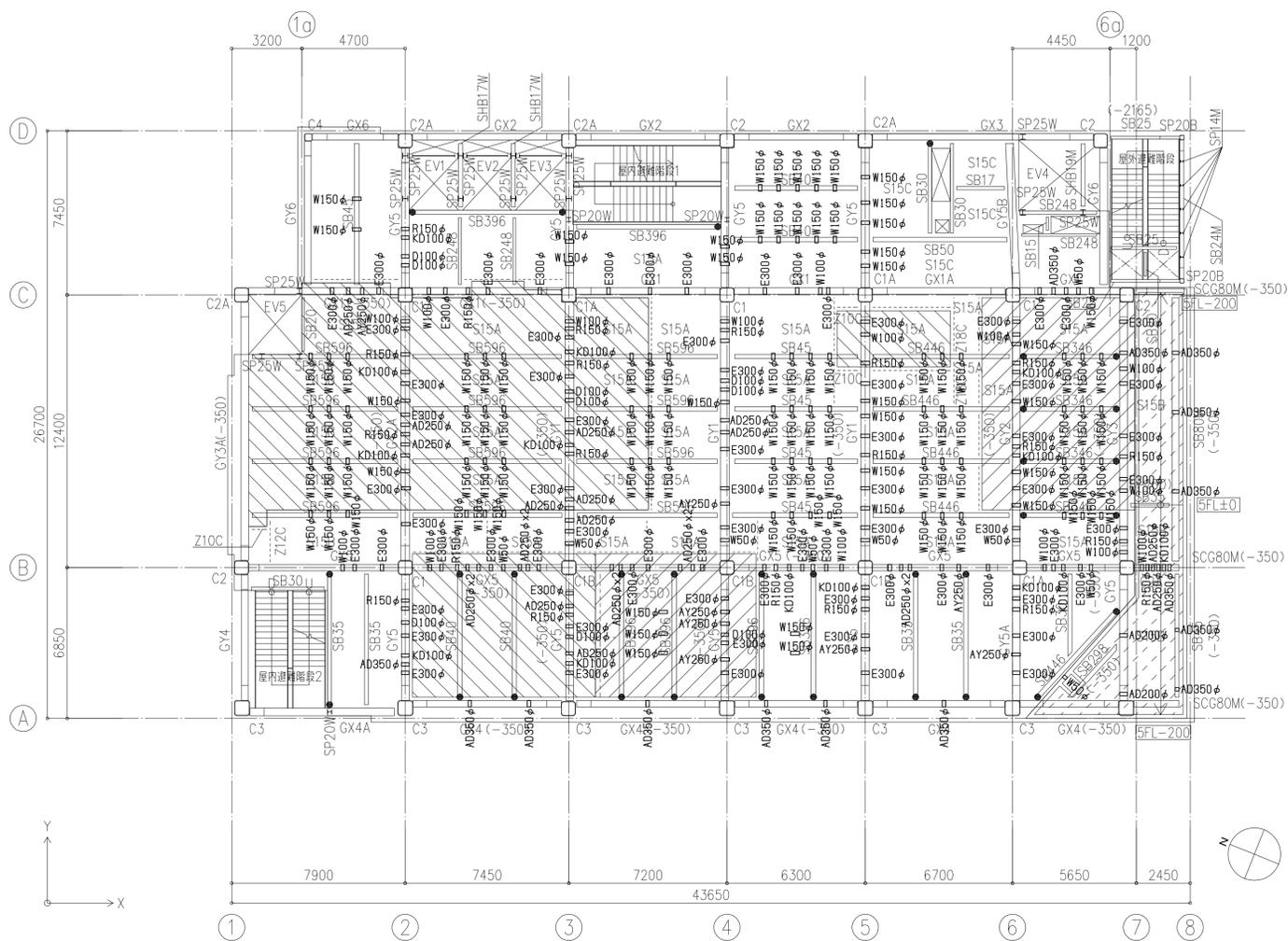
令和元年度	図面番号	564	図面名称	梁貫通伏図(3)	通し番号	226	図面番号	564
大阪府都市整備局 企画部	公共建築課(企画設計グループ)	株式会社	大建設	226	229			



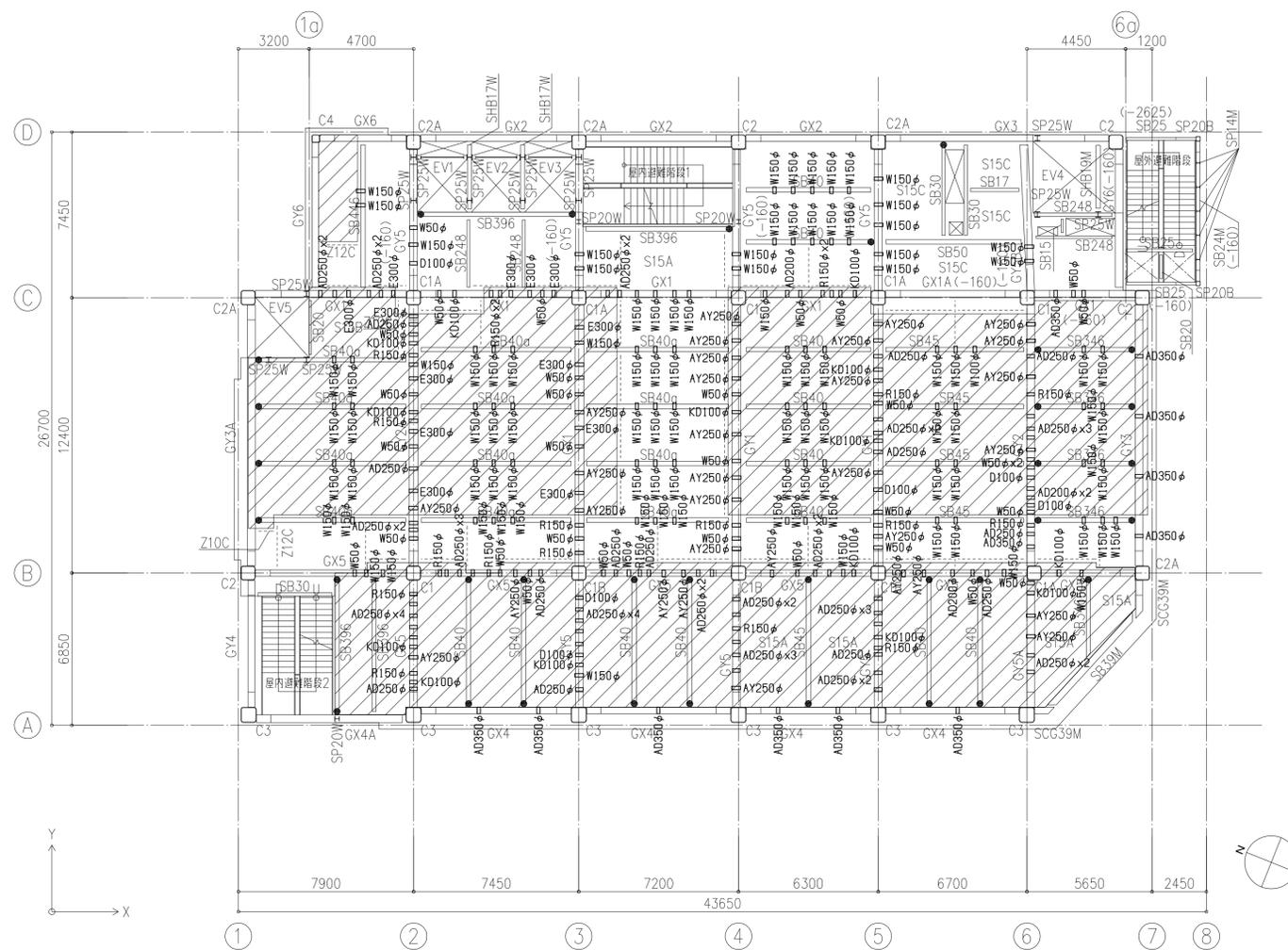
5FL+3000 1:150



6FL+3000 1:150



5階伏図 1:150

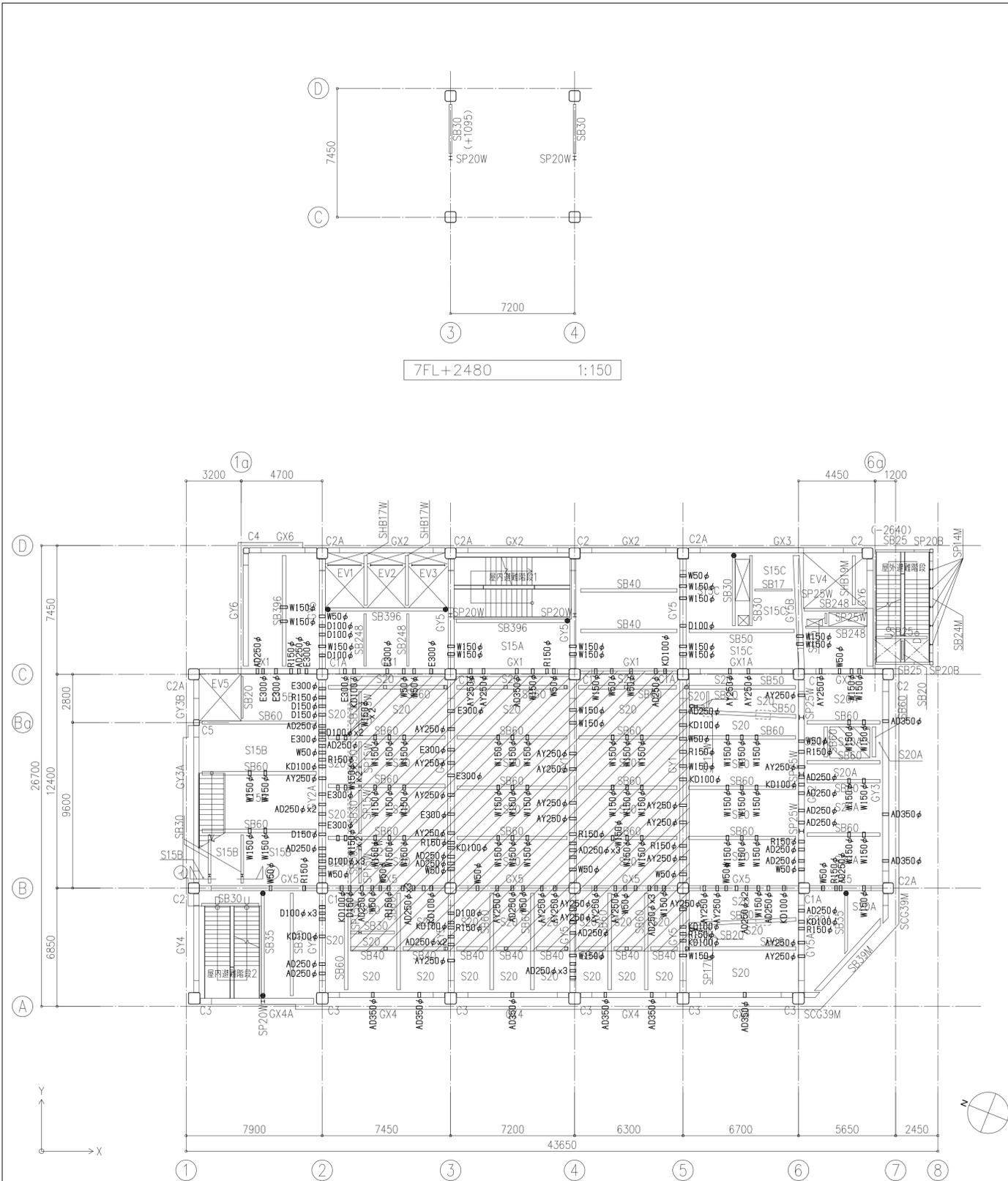


6階伏図 1:150

- 特記なき限り 下記による
- スラブ符号は、S15とする。
 - 出幅1000以下の片持ちスラブ符号は、CS15とする。
 - 梁天端レベルは、5FL-160とする。
 - ()内は、5FLからの梁天端レベルを示す。
 - スラブ天端レベル5FL±0~200
 - スラブ天端レベル5FL-10 小梁天端レベル5FL-160
 - スラブ天端レベル5FL-100 小梁天端レベル5FL-250
 - スラブ天端レベル5FL-200 小梁天端レベル5FL-350
 - 複数のハッチングに渡る小梁の天端レベルは、レベルの低い値とする。
 - は、SHB12Wを示す。
 - は、水平ブレースHV75Lを示す。
 - は、Z15Cを示す。
 - 印は、構構剛性接合部を示す。

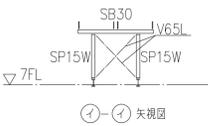
- 特記なき限り 下記による
- スラブ符号は、S15とする。
 - 出幅1000以下の片持ちスラブ符号は、CS15とする。
 - 梁天端レベルは、6FL-350とする。
 - ()内は、6FLからの梁天端レベルを示す。
 - スラブ天端レベル6FL-10 小梁天端レベル6FL-160
 - スラブ天端レベル6FL-200 小梁天端レベル6FL-350
 - は、小梁剛接合部を示す。
 - は、SHB12Wを示す。
 - は、水平ブレースHV75Lを示す。
 - は、Z15Cを示す。
 - 印は、構構剛性接合部を示す。

令和元年年度 図面番号: A1	縮尺 1:150
工事名称 (仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事	図面名称 梁貫通伏図(4)
図面番号 227	図面番号 227
大阪府都市整備局 企画部	大建設
公共建築課(企画設計グループ)	227
	229



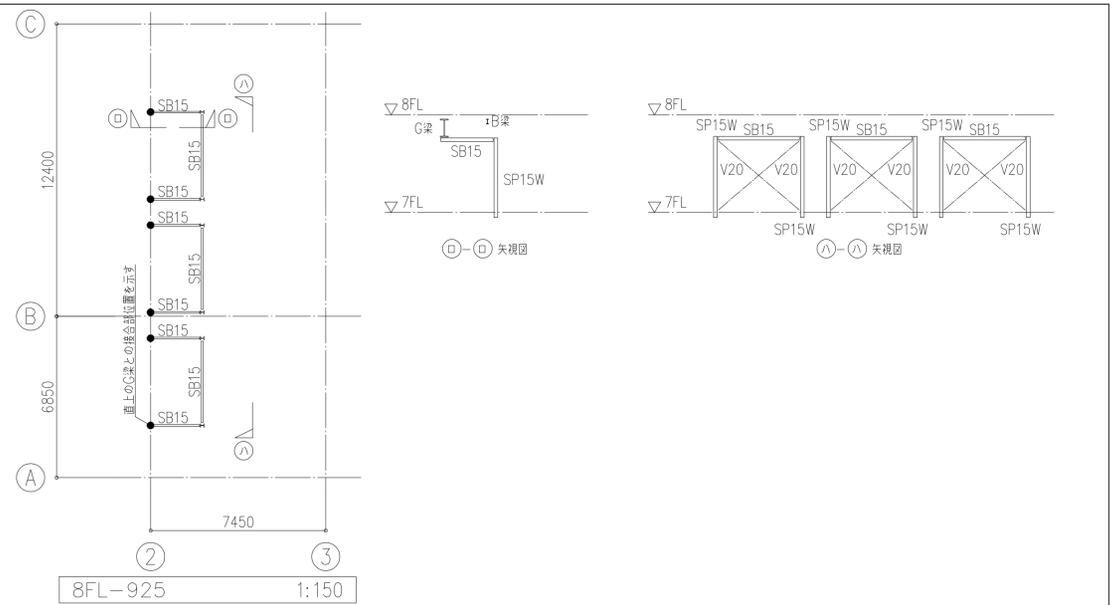
7階伏図 1:150

7階伏図 1:150



- 特記なき限り 下記による
- スラブ符号は、S15とする。
 - 出幅1000以下の片持ちスラブ符号は、CS15とする。
 - 梁天端レベルは、7FL-240とする。
 - ()内は、7FLからの梁天端レベルを示す。
 - スラブ天端レベル7FL-10 小梁天端レベル7FL-160(スラブ厚150の範囲)
 - スラブ天端レベル7FL-210(スラブ厚200の範囲)
 - スラブ天端レベル7FL-40 小梁天端レベル6FL-240
 - スラブ天端レベル7FL-610
 - 複数のハッチングに異なる小梁の天端レベルは、レベルの低い値とする。
 - は、小梁剛接合箇所を示す。

- は、SHB12Wを示す。
- は、水平ブレースHV75Lを示す。
- は、ホール壁下地支持材a20Bを示す。
- は、Z15Cを示す。
- 印は、構補剛性接合部を示す。



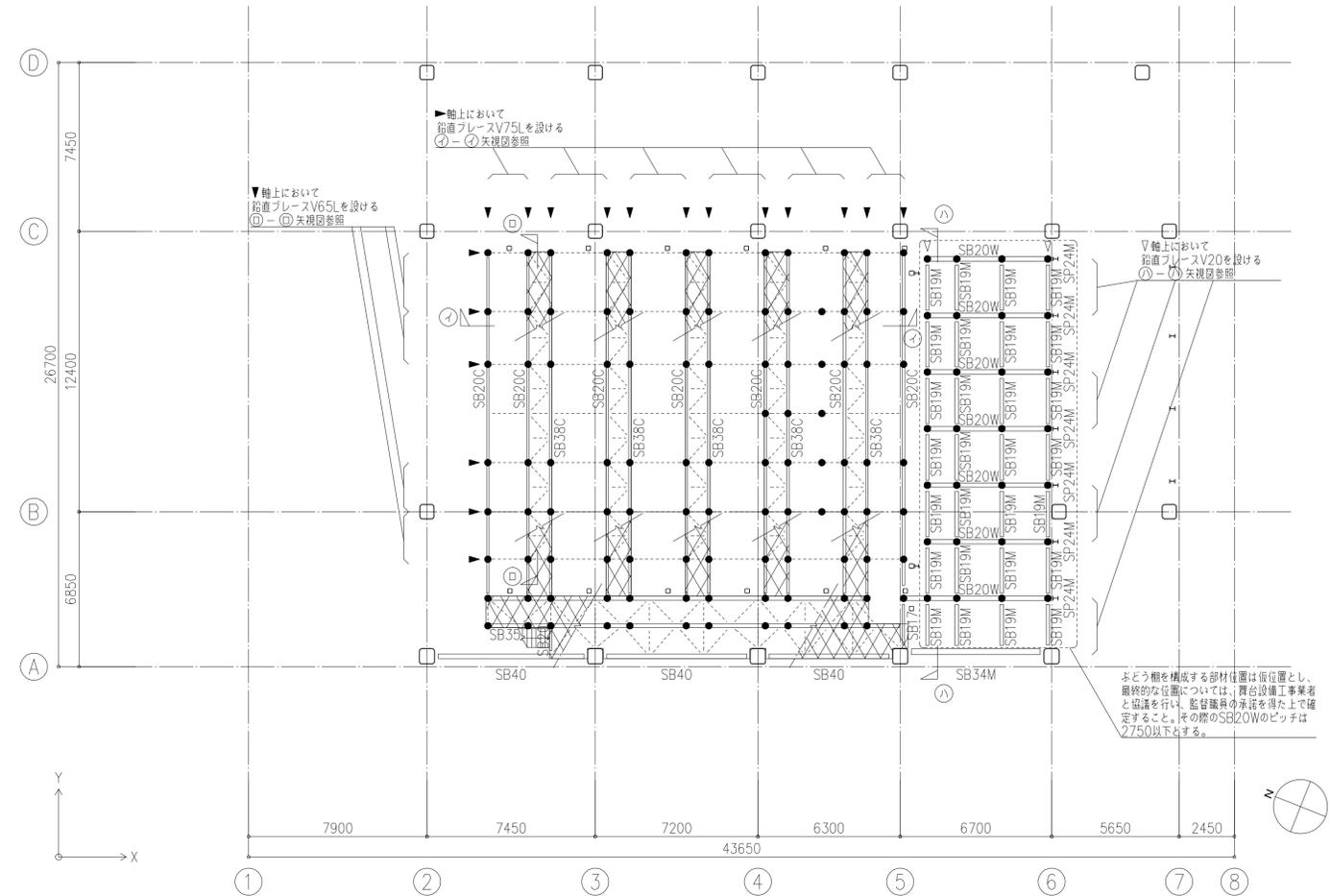
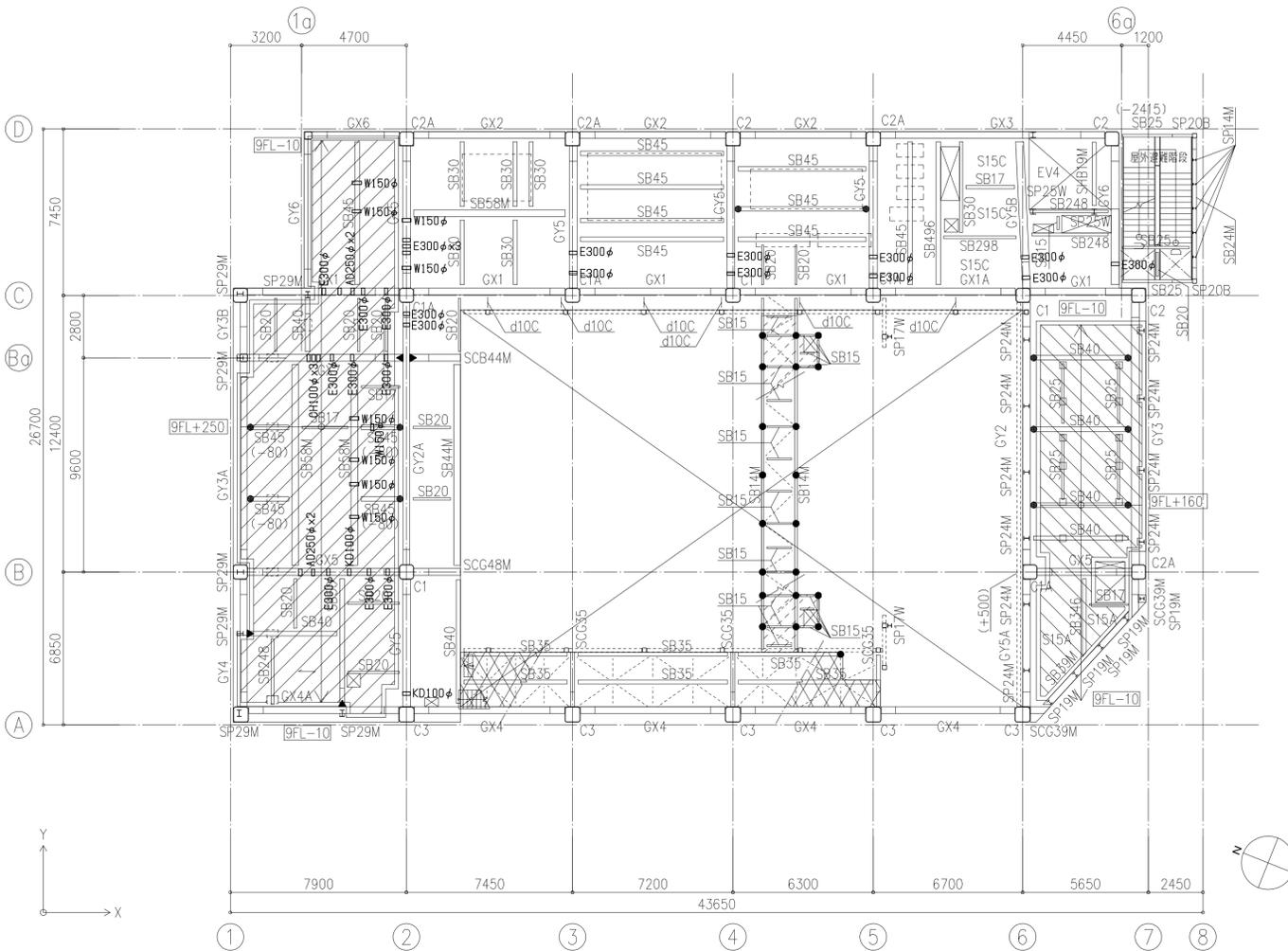
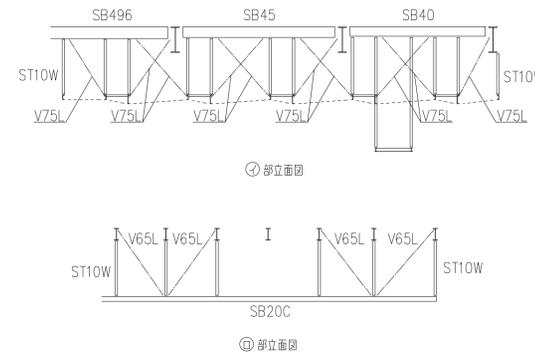
8階伏図 1:150

8階伏図 1:150

- 特記なき限り 下記による
- スラブ符号は、S15とする。
 - 出幅1000以下の片持ちスラブ符号は、CS15とする。
 - 梁天端レベルは、8FL-160とする。
 - ()内は、8FLからの梁天端レベルを示す。
 - スラブ天端レベル8FL-10
 - は、小梁剛接合箇所を示す。
 - は、SHB12Wを示す。
 - は、水平ブレースHV20を示す。
 - は、水平ブレースHV75Lを示す。
 - は、ホール壁下地支持材 a20Bおよびb15Bを示す。

- 印は、構補剛性接合部を示す。

令和元年度 図面番号: A1	666	228	566
大阪府都市整備局 企画部	大建設	228	229
公共建築課(企画設計グループ)			



特記なき限り 下記による

- スラブ符号は、S15とする。
- 出幅1000以下の片持ちスラブ符号は、CS15とする。
- 梁天端レベルは、9FL-160とする。
- ()内は、9FLからの梁天端レベルを示す。
- 斜線スラブ天端レベル9FL+250~-10
- 斜線スラブ天端レベル9FL+160~-10
- 斜線スラブ天端レベル9FL-10
- △は、小梁剛接合箇所を示す。
- は、水平ブレースHV20を示す。
- は、吊材ST10Wによる吊位置を示す。
- は、c65Lを示す。

- ×は、水平ブレースHV75Lを示す。
- は、エキスパンドメタル範囲を示し、梁天端レベルは、9FL-410とする。
- は、チェッカープレート範囲を示し、梁天端レベルは、9FL-410とする。
- は、スラブの主筋方向を示す。
- は、ホール壁下地支持材φ20Bおよびφ15Bを示す。
- 印は、横補剛性接合部を示す。

9階伏図 1:150

特記なき限り 下記による

- 梁天端レベルは、9FL+1800とする。
- は、吊材ST10Wによる吊位置を示す。
- は、c65Lを示す。
- は、d10Cを示し、直行方向に野縁C-100x50x20x2.3@900を設ける。
- は、エキスパンドメタル範囲を示す。
- は、ホール壁下地支持材φ20Bを示す。

ぶどう棚・キャットウォーク伏図 1:150

令和元年度	図面番号: 567
工事名称 (仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事	図面名称 梁貫通伏図 (6)
図面名称 梁貫通伏図 (6)	通し番号 229
大阪府都市整備局 企画部	大阪府都市整備局 企画部
公共建築課(企画設計グループ)	株式会社 大建設
	図面番号: 229